軽さが進化したニューラインアップ。

通気性と防水性が合体した
ニューエアリー採用。
ウィングゾーン OD-L ¥11,000
16KH-40109 サイズ：23.0～29.0
ホワイト/パープルにブラック/ゴールド 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE

アウトドア専用のグリップ性能。
ウィングゾーン OD-S ¥7,900
16KH-41162 サイズ：23.0～29.0
ホワイト/ネイビーにレッド/シルバー 他1色
●甲：人工皮革 ●底：ゴム、合成樹脂 SORBOTHANE

WING ZONE MD

攻守に、弾む。ハンドボール協会公認の検定球、準検定球。

16OH-202
¥4,700
検定球
亀甲型
天然皮革2号
HL-2

16OH-203
¥4,800
検定球
亀甲型
天然皮革3号
HL-3

16OH-212
¥4,400
準検定球
亀甲型
天然皮革2号
HL-2A

●記載価格はすべて税抜き価格です。消費税相当額はお客様にご負担いただくことになります。
●ミズノ製品についてのお問い合わせ・ご相談は――「ミズノお客様商品相談センターMUSIC」 TEL：東京(03)3233-7110 大阪(06)614-8110

二大国際大会特集

ヒロシマ国際大会

全日本男子、ビーラムに不覚！

第1回ヒロシマ国際大会は7月14日から16日まで、広島市東区スポーツセンターでハンガリー、デンマーク、オーストリアの各クラブチームと全日本が参加して総当りリーグで行われた。

全日本は二日目のビーラム・S（デンマーク）に残り2分で逆転負けを喫した。

優勝は3戦3勝のF・ベスブレム（ハンガリー）で、世界代表6人の貫禄で攻守にハデさはないが、確実な力強いプレーを披露してくれた。

大会終了後、各チームより優秀選手が選ばれた。

◇日　本
GK　井上耕一（中村荷役）

◇ベスブレム
ヨージェフ・エレーシュ選手
26才／188cm／80kg

◇ビーラム
GK　ベーター・アリック選手
23才／186cm／82kg

◇ウィーン
アレクサンダー・ブラムベック選手　29才／190cm／92kg

ヒロシマ国際大会

F・ベスブレム30―15ビーラム・S
全日本　27―16S・ウィーン
ビーラム・S　27―25全日本
F・ベスブレム32―17S・ウィーン
F・ベカブレム22―18全日本
ビーラム・S　25―22S・ウィーン
（順位）①F・ベスブレム②ビーラム・S③全日本④S・ウィーン

★　★　★

7月18日に湧永満之記念体育館・呉市民体育館で行われた親善試合の結果は次のとおりだった。

湧永製薬23―23ビーラム・S
チーム97熊本33―20S・ウィーン
F・ベスブレム33―22日新製鋼

チーム97熊本は、前半固さが見られたが、徐々に選手も伸び伸びしたプレーとスピードあふれる走りで、後半一気に突き放し、嬉しい1勝を上げた。湧永は残り1分、堀田のサイドからのゲットで同点、両チームの迫力あるプレーに満員の観衆が大いに湧き、国体を控え絶好のPRが出来たと甲田町国体局を喜ばせた。

日新は前半、互角に戦うもテクニック、パワーが一段上のベスブレムに押し切られてしまった。

広島国際大会・全日本チームの個人別得点表

		7/14 対ウィーン	7/15 対ビーラム	7/16 対ベスブレム	計
CP	田中雅	0	3	0	3
	高　木	2	0	0	2
	富　本	7	2	0	9
	末　岡	2	6	8	16
	田中茂	1	1	1	3
	堀　田	0	0	0	0
	佐　藤	0	0	0	0
	高　田	0	0	0	0
	渡　辺	1	4	0	5
	三　輪	4	2	1	7
	森　本	3	1	2	6
	木　浪	0	0	0	0
	岩　本	5	4	2	11
	藤　井	5	2	4	11
GK	林	―	―	―	―
	橋　本	―	―	―	―
	井　上	―	―	―	―

熊本サマーカップ

全日本は安易なミスと決定力不足

ベスブレム（ハンガリー）が貫禄示し優勝

舞台を広島から熊本に移し、7月21日から23日までの3日間、熊本県立体育館に満員の観衆を集めて熊本サマーカップが行われた。

時差、暑さにも慣れ、広島大会以上に迫力とスピードプレーが見られ、97年のプレ大会と位置づけた大会であったが、愛好者、ファンに強烈にアピールした。

全日本は広島大会からエース

中山を欠いており、スピード不足と気迫のこもったプレーが見られず、この熊本大会でもデンマーク・ビーラムチーム、ハンガリー・ベスプレスチームにも敗れる結果となった。

大会終了後、全日本・蒲生監督は若手の富本、GKの井上が力をつけてきたと数少ない収穫を挙げていたが、エース中山の故障、魚住がまだめどがたっていないだけに頭が痛いところ。

再度アトランタオリンピック予選まで基本プレーの徹底を行うと宣言。9月末に迫った大会まで外人コーチ、オレ・オルソン氏の起用で予選に臨む。

なお、最優秀選手にはハンガリー・ナショナルチームのメンバーでもあるベスプレムのヨージェフ・エレーシュ選手が選ばれた。エレーシュ選手は92、93年ハンガリーでのMVP。また先のエジプトチームと世界選抜チームの一員としてプレーし、ここでもMVPを獲得している。シュート、フェイント、パスと三拍子揃った好選手である。

熊本サマーカップ

F・ベスプレム 25－21 ビーラム・S
全日本 28－23 S・ウィーン
F・ベスプレム 28－20 S・ウィーン
ビーラム・S 23－18 全日本
F・ベスプレム 30－23 全日本
ビーラム・S 27－17 S・ウィーン
(順位)①F・ベスプレム②ビーラム・S③全日本④S・ウィーン

熊本のMVP・エレーシュ選手。右は渡辺副会長

田中のカットイン

岩本のパワフルシュート

熊本サマーカップ・全日本チームの個人別得点表

		7/21 対ウィーン	7/22 対ビーラム	7/23 対ベスプレム	計
CP	田中雅	1/1	2/2	1/4	4/7
	富本	4/7	1/7	3/6	8/20
	末岡	6/8	7/16	3/8	16/32
	田中茂	－	－	1/3	1/3
	堀田	6/7	2/3	6/7	14/17
	佐藤	1/2	1/1	2/2	4/5
	渡辺	1/1	－	－	1/1
	三輪	2/7	1/5	3/7	6/19
	森本	1/3	0/2	2/6	3/11
	木浪	0/1	1/3	－	1/4
	岩本	3/7	3/11	2/5	8/23
	藤井	3/3	0/1	－	3/4
	小計	28/47 (59.6%)	18/51 (35.3%)	23/49 (46.9%)	
GK	井上				
	林				
	橋本				

熊本サマーカップ(シュートランキング)

順位	選手	国	成績
1.	ジョセフ・エレシュ	(ハンガリー)	19/32
2.	クラウム・B．ヨルゲンセン	(デンマーク)	18/32
3.	末岡	(日本)	16/32
4.	堀田	(日本)	14/17
5.	ジョルジィー・ツイグモンド	(ハンガリー)	12/17
5.	ミハエル・ガンゲル	(オーストリア)	12/24
5.	ジャペ・H．ハンヤン	(デンマーク)	12/25

教えてくれた本質

早川　文司

7月の男子国際親善大会を通じて改めてスポーツマンの本質を教えられた。

あくまでも勝負を追及する真剣なプレー、紳士的マナー、精神的強さetc。それぞれ国を代表するクラブだけのことはあると感心したが、輝かしい伝統やしっかりした規律が存在し、監督・選手がそれを守るハートの持ち主だからだろう。

最も目についたのが広島・熊本大会を通して無敗のベスプレム（ハンガリヘー）の紳士的なマナー。ここ4年間、国内チャンピオンだけのことはあると思ったし、高度なプレーを披露するだけがスポーツマンでないことを再認識させてくれた。

象徴的な場面を紹介しよう。熊本の最終戦、対全日本の前半28分。日本のゴール前でショートニーと田中雅が接触、田中が頭を打ってしばらく起き上がれなかった。ドクターの治療が終って立ち上がろうとした時だ。ショートニーがすっと歩み寄って「すまん」と言うように握手を求めた。プレーはプレー、マナーはマナー。コート上にほのぼのとしたムードが漂ったのは言うまでもない。こんな光景を何度となく目の当たりにしたが、これこそが最高のプレーである。

勝負を追及する真剣なプレーはどのクラブにもいえた。親善試合などで大差がついた時など時折、手を抜いたプレーが目につくことがある。ところが今回のチームには試合終了まで持てる力を出し尽くそうという覇気がうかがえた。また、どの監督も親善試合とは思えないほど真剣にベンチワークをこなした。ハッパをかけ続け、好プレーをたたえ、常にアドバイスを送るなどベンチサイドを動き回った。プロだけに拙いゲームをすれば首が飛ぶという危機感があるとはいえ、やはりいいゲームを見せたい、いいチームづくりをしたいとの情熱の表われである。

精神的強さ、弱さは勝敗を左右する要素の一つだが、彼らのたくましい精神力にも舌を巻いた。本場できびしい戦いをこなすには必要不可欠なのだろう。同時に攻守の切り替えの早さも目を見張らされた。

アトランタ五輪予選に臨む全日本のアドバイス・コーチにビーラム（デンマーク）のオルソン監督が就任したが、今回、情熱的な采配、指導に接し、技術だけでなく、あらゆる面で日本に大きな財産を残してくれることを確信した。

今後、国内外であらゆるものを学びとる姿勢を持ち続け、どんどん吸収しよう。いくら多くてもこれはマイナスには決してならない。

末岡のジャンプシュート

日本対ビーラムの攻防

ニールセンの突進

観戦する草井、山下、西本各氏

●観光より練習！

欧州三カ国のクラブチームは、必ずトレーニングを行い、会場関係者も確保に大わらわ。ベスブレムチームは日本に到着後、すぐトレーニング。またビーラムチームも午前2時に広島に到着し、その日すぐトレーニングと、3チームとも真面目でいいチームであった。そして技術もチームプレーもそれぞれ特徴があり楽しかった。

●本番の記録コンピューターはまかせて

熊本大会では熊本大の学生が記録を担当。その指導に当たったのが企画委員の村松誠先生。一日目は少しトラブルもあったが、あとはスムースに機能。相当短期間の間にマスターする腕前。村松先生も「みんな、呑み込みが早い」のにはビックリ。

写真手前は記録担当の学生

●選手はハッピを着てハッピー

広島・甲田町の湧永満之記念体育館では日本の強豪・湧永製薬がビーラムチームと、チーム97がオーストリアチームと対戦し、終了後、工場内でパーティー。

湧永より贈られたハッピとハチマキに、選手、役員は大喜びで「ハッピー」の連続。ハッピを着て、お国自慢の歌を披露して、最後まで盛り上がった。熊本の試合前もハチマキをして出てくる選手もいて、日本人以上の心?が……。

ビーラムチームのハッピ姿

●熊本、広島は宝庫！

広島大会では東区スポーツセンターでハンドボール教室が行われ、参加した小学生のメンバーが日頃のプレーの一端を披露。動きのいいプレーに拍手を浴びた。湧永製薬の甲田町の小学生ハンドボールスクール生も紅白に分かれてゲーム。全日本小学生大会を前にハッスルプレー。

そして熊本でも試合に先立ち、宇土花園小対網津小のエキシビジョンマッチが行われ、軽快なフットワーク、足さばき、シュートフェイントなど大人顔負けのプレーで観衆をうならせた。それにしても広島、熊本の層の厚さには感服！

ハンドボール教室に参加した子供たち

●岩本選手、県警に一役

7月にスタートした交通安全のポスターに岩本真典選手（三陽商会）が登場。その感謝状が体育館館長室にて授与された。岩本選手は地元熊本市立商業高校の出身で、人気も高く、97年に向けてのPRにもすばらしい

感謝状を受ける岩本選手

ポスターが作成された。
標語は「安全運転　あなたにシュート」

●熊本県知事、熊本市長も応援

熊本大会では知事、市長はじめ県・市の役員が本場の迫力あるプレーを楽しんだが、日本は大丈夫かとの声しきり。ちょっと元気のない全日本チームを心配していた。
パーティーで三角熊本市長がビーラムチームNo.4ラースロー・ショートニィ選手の試合中の頭脳プレーを誉め、ハンドボールは頭？の話に大笑い。
パーティーはRKKの本多アナウンサー、通訳の熊本事務局郷田さんのすばらしいコンビで最後まで盛り上がり、お茶のサービスもなされ、日本での最後の夜を選手は楽しんでいた。

写真下は本多アナと郷田通訳。左は三角市長

●テレビ中継、選挙で中止

広島国際大会の7月16日にNHKでハンガリー対日本の試合が放送される予定になっていたが、参議院選挙が入ってきて、急遽番組変更があり、残念ながら大会の放映がなされなかった。

●欧州3チーム、県庁、市庁を訪問

欧州の3チームは広島、熊本でそれぞれ県庁、市庁を表敬訪問した。
三角保之市長は「自然にめぐまれた街なので、ハンドボール以外のことでも十分楽しんでほしい。また2年後、お会い出来ることを楽しみにしています」と挨拶。みかんブランデーを記念に渡された。

優勝杯を贈る福島知事

●欧州3チーム、高校を訪問し交流を深める

大会の忙しい日程をぬって欧州のチームが熊本市内の高校を訪問。ゲームをしたり、指導してもらったり、またデンマーク・ビーラムチームのGKベーター・アリット選手は学校で演説するやら、楽しい有意義な交流が行われた。
試合では訪問した学校の生徒が横断幕をつくってさかんに笛・太鼓で大きな声援。選手もこれに応えてハッスルプレー。試合終了後も必ず応援席にいって御礼をするという楽しい場面が見られた。ハンガリーは国府高校、オーストリアは市立商業、デンマークは熊本北高校をそれぞれ訪れた。

市内の高校を訪れたビーラムチーム

●飛勇太初登場

全国からマスコットの愛称を募集して決められた「飛勇太」が熊本大会のコートに初登場。子供たちからさかんに声をかけられていた。
県鳥の「ヒバリ」をもじってつくられたが、7mスローコンテストにGKとしてもプレーし、観客を大いに沸かしてくれた。
子供たちの評判は、かわいくておぼえやすいと好評。

●台風、大丈夫？

九州地方は台風3号の襲撃を受けて7月23日は風も強くなり、熊本でも雨が降り、関係者を心配させた。
欧州のチームもはじめての経験らしく、大丈夫かと声をかけてくる。帰国の日も雨と風のため飛行機のトラブルを心配。しかし、無事関空から成田に到着。ところが空港では夏休みに入っていたため人で混雑。出国までの手続きに時間がかかり、さすが欧州チームも疲れが倍加してゲンナリ。見送った竹野常務理事も時間に間に合うかヒヤヒヤのしどおしだった。

●選手は動く広告塔

クラブの運営資金の確保のために、欧州ではユニフォームに広告を入れることは日常茶飯事になっている。
先のアイスランド世界選手権大会では、ナショナルチームのユニフォームにまでCMが……。
この度の大会にも欧州3チームから日本でスポンサーを探してほしいと依頼があったほど、資金集めに苦労している。ユニフォーム、そしてパンツの前後まで広告でぎっしり。まさに動く広告塔。日本チームも財源確保のため動いたが、経済事情もあり今回は見送られた。

広告だらけのユニフォーム

日本協会だより

7月度常務理事会

日　時　平成7年7月15日(土)午後17時～24時
場　所　広島全日空ホテル
出　席　中澤専務理事、理事8名

議題に入る前に、スポーツ医科学委員会の西山・濱脇氏より現況の報告があった。

《議題》

一　オーナー会議開催について

8月29日(火)に開催することを決めた。

二　加盟団体、登録チームの国際交流について

再度各都道府県協会に通達を出し、届け出の徹底を図ることを決めた。

三　外人選手の登録について

平成8年度から、全ての大会について外人選手はエントリー2名、出場2名とすることを確認した。

四　第47回全日本総合大会開催要項について

参加料は今回7万5千円、次回日本リーグ10万円、それ以外7万5千円とする。

五　97世界選手権関連事項

中澤専務理事より今までの経過と現状説明があり、臨時常務理事会を開催して今後の対応・対策を考えていくことを決めた。

六　ナショナルチームユニフォーム広告について

今回の国際大会は時間がなく見送りとするが、今後は財源確保のために積極的にすすめていく。

機関誌の原稿募集！

機関誌委員会では、本誌の原稿をお待ちしています。「審判委員会インフォメーション」のコーナーへのルールの問い合わせ、「私のチームづくり」等、何でも結構です。日本協会「機関誌委員会」宛に郵送して下さい。また、本誌に関する希望、感想等もございましたらお寄せ下さい。

（機関誌委員会）

CONTENTS

マスコットキャラクター愛称及び大会キャッチフレーズ決定

去る4月1日から6月30日まで募集したマスコットキャラクターの愛称と大会のキャッチフレーズが決定しました。愛称は9236件の応募のなかから、福岡県久留米市の松尾美津子さんの作品『飛勇太（ひゅうた）』が、大会キャッチフレーズは6371件の応募の中から熊本県天草郡天草町の山口由佳ちゃん（9才）の作品『ボールもひとつ　地球もひとつ』と、岩手県盛岡市の井幹久さんの作品『その瞬間　鳥になる』が最優秀作品に決定しました。

表彰される山口由佳ちゃん

それぞれの制作理由として、『飛勇太』は「ボールが〝ヒュッ!〟と速く飛ぶ音とひばりの鳴き声をイメージするとともに、漢字で表現した時の、九州男児、熊本の男！といったような力強い感じがするもの」ということでした。また、『ボールもひとつ　地球もひとつ』は本大会が「世界中が、人を傷つけたり、いじわるをしないで、みんな仲良く過ごすことができる国をつくるスポーツの祭典になるように」という小学校4年生の由佳ちゃんの気持ちが込められたものでした。また、『その一瞬　鳥になる』は「マスコットの鳥をイメージしたばかりではなく、ハンドボールのシュートのシーンが、まさに一瞬、鳥のように飛び込んでゴールするところから」ということでした。

本当にたくさんのご応募ありがとうございました。今後、このマスコットキャラクターの愛称やキャッチフレーズが大会のポスター、パンフレット、チラシ等で使用されることになります。なお、表彰は7月22日に熊本サマーカップ会場にて行われました。

大会のメイン会場となる屋内運動広場の施工がスタート

1997年5月17日から開催される男子世界ハンドボール選手権大会のメイン会場の熊本県民総合運動公園内屋内運動広場の新築工事安全祈願祭が去る7月5日、多数の関係者出席のもと、厳粛な中に実施されました。平成9年3月の完成が予定されています。

本施設は、敷地面積7万2000平方メートルに建築面積2万5901平方メートルと日本でも最大規模の屋内運動施設であり、ソフトボール、サッカー等の屋外スポーツが年間を通して楽しめるとともに、スポーツイベントをはじめ、各種イベントの開催が可能です。

外観は「浮雲」とも呼ばれ、中央部の巨大な円盤のような二重空気膜とその周辺部の不定型の一重骨組織による世界でも初めての建築様式からなる施設です。

2年後の世界選手権大会では、屋内にハンドボール専用コートと1万人収容の特設スタンドを設置し、開閉会式をはじめ、大会のメイン会場として使用されることになります。

メイン会場の安全祈願祭

横断幕等の掲示を！

大会組織委員会から各都道府県協会に97年の男子世界選手権大会を周知する横断幕をお送り致します。各都道府県協会における大会、教室、講習会等あらゆる機会での掲示及びPRをお願いします。

全国のハンドボーラーの全勢力を結集し、2年後の熊本大会に全国、全世界からハンドボールファンが詰め掛け、大成功に大会が終了しますようご協力をお願いします。その他、ポスター、パンフレット、チラシ等、製作ごとにご送付いたしますのでよろしくお願いします。

世界選手権大会の組織委員会開催

97年男子世界選手権大会第2回組織委員会が7月14日、東京・千代田区のKKRホテル東京で開催された。

組織委員会は昨年12月2日に発足している。会議では次のことを決定した。

一　組織委員会役員の委嘱及び組織委員の選任

準備活動の本格化に伴い、大会開催準備の万全を期すため、経済界、スポーツ界、国などの協力を得ていく必要があり、各界からの委員を選任し、組織委員会の充実を図った。(別掲)

二　開催日について

1997年5月17日(日)から6月1日(日)の16日間に決定。

三　平成6年度事業報告及び収支決算報告

四　平成7年度事業計画について

五　平成7年度収支予算について

以上の表題について報告され、了承された。

《報告事項》

一　大会シンボルマーク

3月24日に記者発表を行った。

二　マスコットキャラクター及び愛称

最優秀賞は「飛勇太」と決定されたことが報告された。

三　大会キャッチフレーズ

最優秀賞は次の二作。

「ボールもひとつ　地球もひとつ」

「その一瞬　鳥になる」

組織委員会　(敬称略)

役職	氏名	所属・役職
名誉会長	斎藤　英四郎	(財)日本ハンドボール協会名誉会長
名誉顧問	豊田　章一郎	(社)経済団体連合会会長
〃	稲葉　興作	日本商工会議所会頭
〃	根本　二郎	日本経営者団体連盟会長
〃	牛尾　治朗	(社)経済同友会代表幹事
顧問	小林　敬治	文部省体育局長
〃	佐藤　俊一	外務省文化交流部長
〃	高原　須美子	(財)日本体育協会会長
〃	古橋　廣之進	(財)日本オリンピック委員会会長
〃	川合　辰雄	九州経済団体連合会会長
会長	米倉　功	(財)日本ハンドボール協会会長
副会長	福島　譲二	熊本県知事
〃	三角　保之	熊本市長
〃	立石　孝雄	(財)日本ハンドボール協会副会長
〃	渡邊　佳英	(財)日本ハンドボール協会副会長
委員	荒木　哲美	熊本市議会議長
〃	井　薫	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	江成　元伸	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	岡崎　助一	文部省体育局競技スポーツ課長
〃	小野　安昭	外務省文化交流部文化第二課長
〃	川上　信次郎	東京商工会議所理事、事務局長
〃	木野　実	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	草西　信義	熊本県町村会会長
〃	斎藤　詢	日本経営者団体連盟常務理事
〃	竹野　奉昭	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	戸村　敏雄	(財)日本体育協会常務理事
〃	殿水　幸雄	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	長野　吉彰	九州・山口経済団体連合会副会長
〃	永野　光哉	熊本日日新聞社社長
〃	中澤　重夫	(財)日本ハンドボール協会専務理事
〃	八木　祐四郎	(財)日本オリンピック委員会専務理事
〃	山下　泉	(財)日本ハンドボール協会常務理事
〃	山本　秀久	熊本県議会議長
〃	與縄　義昭	熊本県ハンドボール協会会長
〃	和田　龍幸	(社)経済団体連合会常務理事
〃	太田　篤	(社)経済同友会副理事
〃		熊本県体育協会会長
監事	大野　金一	(財)日本ハンドボール協会監事
〃	河野　延夫	熊本県出納長
〃	中村　順行	熊本市収入役

ハンガリー学生選抜チーム来日

第14回男子学生世界選手権大会（1996年12月）開催国であるハンガリーから、若手の強化を目的としたハンガリー学生選抜チームが来日。スタッフや選手（ハンガリー代表5名、同学生代表4名）を見て、この遠征の姿勢が窺える編成であった。6月30日に来日し、全日本、チーム97熊本候補（実業団選抜）、チーム97熊本（実業団・学生混成）、全日本学生と対戦し、3勝1敗の成績を残し7月9日に帰国した。

7月2日、再起を図る全日本が格下相手にどのような戦いを見せるか興味深い一戦であった。立ち上がり、ハンガリー学生選抜に先行され、それを追う形で経過したが、前半26分、中山のシュートで追いつき、その後、中山、森本、中山で3連続得点し、前半は14－13で終わった。後半に入ると全日本に余裕が見られるようになり、中盤過ぎてから中山の負傷退場があったが、常に先手を取り、ハンガリー代表ロスタ、同ケレテスなどで追いすがるハンガリー学生選抜を24－21で下した。

7月4日、チーム97熊本候補（実業団選抜）は、正確で早いパスワークから大型ポスト（194cm）のロスタを有効に使ったり、オズランジ（ハンガリー代表）のロングや、全員で攻めるハンガリー学生選抜に、国際試合の経験不足を露呈し完敗した。

7月6日、チーム97熊本候補（実業団選抜・学生選抜混成）は、先発メンバーがハンガリー学生選抜の高さに慣れないままに、前半15分までに7－1とリードされ、その後世界学生選手権で対戦経験のある学生を投入して追い上げ、前半は9－11で終了。後半に入っても5分から14分まで、単調な攻撃でハンガリー学生選抜の固いディフェンスを破れずに無得点の間、5連続得点され、以後、ハンガリー学生選抜ペースで経過。結局25－19で敗れた。

7月7日の試合は、全日本学生選抜が本年1月3日にトルコで行われた世界学生選手権大会の順位決定戦でハンガリー学生選抜と対戦し、1点差で敗れているだけに、両チームとも当時のメンバーが主力であって見ると、全日本学生は雪辱戦であった。

開始早々、30秒、1分とハンガリー学生選抜が連取し先行したが、全日本学生もすぐ反撃。渡辺、荒尾、辻、工藤が連続得点し10分には逆転。15分過ぎから交互に加点の展開で前半はタイで終わる。後半、全日本学生が好調に滑り出し、10分までに4点差をつけたが、その後、7分間無得点が続く間に追いつかれ、20分過ぎから前半同様の展開となって緊迫した時間が過ぎたが、28分27秒、ケルテスが決め、残り時間をハンガリー学生に巧みにボールキープされ、1点を返せないまま逃げ切られ雪辱出来なかった。

試合後、今後のために全日本を除いた97熊本候補、全日本学生の若手についてバス副団長、マタイデス前ハンガリー代表監督に印象を語ってもらったが、全体的な印象では国際試合の経験不足で、第2戦、第3戦ともに選手に戸惑いが見受けられた。もっと国際試合を経験すること、オフェンスでは、意図的な攻撃の意欲は見受けられたが、チームを結成してが浅いと聞いており、コンビネーションが悪く、意図された結果が出せなかったこと、ディフェンスでは190cm台の選手が少ないことで、高さとパワー不足から力で押し込まれるケースが間々見られた。難しい問題ではあるが、チームとしての独創的で積極的、組織的なディェンスが必要ではないかと思われたこと。選手個々の印象では、五島（三陽商会）、森山（日体大）にゲームメーカーとしてのセンスの良さが目立った。また、ディフェンダーとして池辺（大体大）、山口（湧永製薬）、その他1～2名が目についたが、特に池辺、山口はウエイトトレーニングの徹底等でパワーをつけると、世界でも通用できる選手としての期待が持てると話してくれた。

■試合結果

チーム	得点	前半	後半	得点	チーム
全日本	24	14－13	10－8	21	ハンガリー学生選抜
ハンガリー学生選抜	24	12－7	12－10	17	97熊本候補実業団選抜
ハンガリー学生選抜	25	11－9	14－10	19	97熊本候補実業団・学生選抜

第8回男子アジア選手権大会 兼アトランタ五輪予選に11ケ国出場

この度アジアハンドボール連盟は7月18日にクウェートで組み合わせを行い、次の様に決定した。組み合わせにはクウェート、アラブ首長国連邦、バーレーン、中国、韓国、日本が立ち会った。日本は現地の伊藤忠商事・山下支店長にご多忙の中を代表として出席願った。

大会は9月25日から10月10日までクウェートで以下の組み合わせで行われる。

▽Aグループ
韓国・アラブ首長国連邦・カザフスタン

▽Bグループ
クウェート・バーレーン・インド・キルギスタン

▽Cグループ
日本・中国・チャイニーズタイペイ・シリア

フクシマカップ'95開かれる

全日本女子ナショナルの強化のため、7月17日から19日に福島県本宮町でフクシマカップ'95が行われた。

注目のナショナルA対外国人選抜チームとの対戦で、ナショナルAは3戦して1勝2敗だった。

ナショナルBも外国人選抜チームに22－30と大敗。ムネカタ（国体福島選抜チーム）の好調が目についた。結果は別掲の通り。

フクシマカップ 結果

◎7月17日(月)

ナショナルA	29	(14－7)	18 ナショナルB
ムネカタ	28	(12－11)	20 ナショナルB
ナショナルA	28	(16－12)	20 ムネカタ
外国人選抜	30	(17－10)	22 ナショナルB

◎7月18日(火)

ナショナルA	24	(15－9)	16 ムネカタ
ナショナルA	28	(12－8)	18 ナショナルB
ムネカタ	19	(10－5)	13 ナショナルB
外国人選抜	27	(13－10)	20 ナショナルA

◎7月19日(水)

ナショナルB	18	(8－7)	13 ムネカタ
ナショナルA	21	(14－8)	19 外国人選抜
ナショナルB	23	(10－9)	20 ムネカタ
外国人選抜	25	(12－10)	19 ナショナルA

全日本男子チーム 茶道、座禅そしてカッターを漕ぐ！

アトランタ・オリンピックを目指す全日本男子ハンドボール強化選手等24名（蒲生晴明監督）はチーム総合力向上の一助として、ハンドボールトレーニングに加えて「動中静」、「静中動」の精神的逞しさを追及する一助として6月9日に富士山麓「秋山充子庵」で茶道を、6月10日に本田技研荘で「青井秀山禅師」の指導で座禅を実施した。何れの体験の狙いも選手の殆どが経験しなかった『二道』を通じて、沈思・黙念で無心の境の中から逞しい選手づくりをという狙いから両道坐位姿勢が異なりはしたが、長脚のしびれに耐え抜いた。そして、また6月19日に防大海上訓練場において、カッターとう漕訓練を実施した。ハン

ドボールは格闘技といわれる昨今、全日本選手は身長2メートルを超す等体位の向上は著しいが、更にカッター訓練で得られる「克己心、闘争心、チームワーク」等のメンタル面での向上を目指すため実施したものである。

選手は前日にポンド集合、交歓教育として防大ハンドボール部学生に対する技術指導、懇談に引き続きカッター教育を受け、4段ベッドにて一夜の安息を。翌朝は小雨の中、期待と不安を胸に2艇に分乗し洋上へと漕ぎだしていった。選抜された指導官から熱い愛情による指導が行われた。

オールの扱いに始まり、基本漕法等ひとつひとつの説明を一言逃さずに聞く態度で、ハンドボールトレーニングの場から見られない姿は清々しさが感じられた。全員初体験であったが、時間の経過とともに海の厳しさを少しずつ理解し、海面の変化とオールさばきや12本のオールを一つに合わせることの大切さを身に染みて感じたようであった。しかし、体力気力溢れる選手は飲み込みも良く、後半には連続とう漕も可能となり、互いに競争心をむき出し、2艇間でレースを行える迄に急成長した。誰言うともなく互いに声を出し、叱咤激励しあう等、パワーが溢れチームワークも素晴らしく、あっという間の3時間訓練を経過した。

終了後の昼食では、「本訓練体験を糧とし、来るべきオリンピック・アジア予選に必勝を期すとともに、選手としての心構え陶冶に精一杯反映していきたい」(岩本真典選手談)と述べており、選手等はアジア予選に向けての固い決意と一層の精進を誓った。

また、防大田村幹事（防大一部

座禅にチャレンジした全日本チーム

心を一つに合わせてカッターにトライ！

防大での全日本チーム

リーグ時代の選手)、出来訓練部長からも期待と応援の暖かい言葉が贈られた。今回は一泊二日の短い体験だったが、たくさんの教訓と思い出を胸に心新たに次の合宿地へと向かっていった。

なお、オリンピック・アジア予選は9月下旬からクウェートの決戦場にて、韓国・クウェート等の強豪相手に1枚のキップを目指し競うことになっている。日本チームの勝利を期待し、各方面からの応援を願わずにはいられない。素晴らしき若人等に海の女神も祝福を！(防大・ハンドボール部　西山逸成・松田茂則)

全日本男子チームに 初の外国人アドバイスコーチを採用

強化委員会はこの度、男子のテコ入れのためにスウェーデン国籍でデンマーク・ビーラムチームのトレーナーのオレ・オルソン氏の起用を決めた。

オルソン氏は7月中旬に開催された広島・熊本の国際大会にビーラムチームと来日。日本と2回戦い、2勝している。

オルソン氏

すでにアイスランドでの日本チームの分析を行っており、また7月の来日時に直接日本チームを見たり、全日本蒲生監督とも今後のスケジュール、練習内容についての細かい打ち合わせを終えている。

契約期間は10月10日までのアトランタ・オリンピック予選までとなっている。選手個有技術の向上と戦略・戦術面の2点を主に指導を受けることになっている。

なお、全日本チームは7月末から8月末まで、デンマーク、スウェーデンの遠征の中でオルソン氏から直接指導を受けた。

7月の国際大会でエース中山を欠いたとはいえ、アトランタ・オリンピック予選を控え、ふがいない戦い方にどうオルソン氏が手腕を発揮するか、そして選手、スタッフが応えていくかである。外国人コーチと契約したのは初めてだが、過去1967年に全日本男子チームがルーマニアで1ケ月合宿を行い、当時のルーマニア・ナショナルチームトレーナーのネデフ氏から直接指導を受け、当初ルーマニアの四部リーグのチームと戦っても負けていた全日本が、一ケ月後にはルーマニア・ナショナルチームBに2勝、そのあとハンガリー、そしてその当時欧州で無敗を誇っていたユーゴを破った経験もあるだけに、スタッフ、選手のがんばりを期待したい。

オレ・オルソン氏の抱負

短い期間ではあるが自分の持っている全てのものを教えてあげたい。日本チームは動きも早いし、テクニックもいいものを持っていると思う。また向上心もある。

前に出る防御はいいが、攻撃面で問題がある。三つのことを重点にやりたい。

一　選手と十分コミュニケーションをとること。

二　期間が短いが体力トレーニングが大切だ。体力がつけば自信がつき、精神的なものもそれについてくる。

三　GKと守りの連携プレーをよくすると同時に、GKにはいろいろなシュートに対する守りを教えたい。

Olle OLSSON氏の略歴

1948年生まれ

選　手	スウェーデンナショナルジュニアチーム		1965－1966
		ユース	1966－1970
		シニア	1967－1977
コーチ	AIK STOCKHOLM.	SWEDEN	1975－1980
	IFK KRISTIANSSTAD.	SWEDEN	1980－1982
	LUGI	SWEDEN	1982－1990
	IL NORRONA BERGEN	NORWAU	1990－1993
	VIRUM SORGENFRI	DENMARK	1993－
	デンマークナショナルアドバイザー		
学歴	体育教員		

全日本女子Jrチームがイタリア遠征
二大会で準優勝の好成績収める

全日本女子ジュニアチームは6月下旬から7月にかけてイタリア遠征を行い、二つの大会に参加。いずれも決勝に進出したものの惜しくも敗れた。

7月5日から11日までテラモ市で行われた「コッパインテラムニアカップ」は、韓国、チャイニーズタイペイ、アンゴラ、アルジェリアと日本の5ケ国が参加し、総当りリーグ戦を行い、上位2チームが決勝を行う試合方式が取られた。

日本は第1戦、チャイニーズタイペイに34－23（前半14－12）に勝ち、第2戦はアルジェリアに27－16（同15－8）、第3戦アンゴラに22－21（同10－9）で勝ち、第4戦は韓国に前半16－14とリードしたものの後半逆転され、27－34で敗れた。決勝で再び韓国と対戦したが前半は15－13と韓国にリードを許し、後半も16－11とリードされ、結局31－24で韓国が勝ち、日本は準優勝に終った。最終順位は①韓国②日本③アンゴラ④チャイニーズタイペイ⑤アルジェリアだった。

7月14日から18日にフォンジ市で開かれた「ハンドフェスタ95」には日本をはじめイタリア、アルジェリア、ポーランド、アンゴラ、チェコの6ケ国が参加し、予選リーグと決勝トーナメントで試合が行われた。

日本は第1戦でポーランドに20－10（前半12－8）と勝ち、第2戦でアンゴラに16－20（同8－9）で敗れたものの準決勝に進み、イタリアと対戦。13－13の同点で7mコンテストの結果4－3で勝ち決勝に進出。決勝はアンゴラとの対戦だったが、前半で8－6とアンゴラにリードを奪われ、後半は互角に戦ったものの追い付けず、13－15で敗れて準優勝に終った。最終順位は①アンゴラ②日本③イタリア④アルジェリア⑤ポーランド⑥チェコだった。

第10回女子Jr世界選手権大会
20ケ国参加。日本の上位進出期待

女子ジュニア世界選手権大会はブラジルで9月4日のオープニングセレモニーのあと、韓国対中国で幕が開き、9月17日まで20ヶ国の間で行われる。

ジュニアの大会とはいえ、年々レベルアップしており、次の時代を担うプレーヤーの集いであるだけに、日本チームの上位進出で、国際舞台での活躍が期待される。

伊藤宏幸監督は今年初めから指揮をとり、韓国遠征、福島カップに参加。また7月にはイタリア・テラモ大会では2位となっていて、チームもかなり上向きで選手たちも張り切っている。

1時間をどう動き回り、日本の特徴を出せるか、防御では高さに対していかに早くアタックでつぶせるかが勝負の分かれ目になりそうである。

今回のメンバーには、学生陣から梶田（東女体大）、田口（日体大）の2名しか選ばれていないが、若手学生陣の少なさは、これからのことを考えると奮起を期待するところである。

20ケ国のグループ分けは次の通り。

▽Aグループ
韓国・ルーマニア・オランダ・中国・マケドニア

▽Bグループ
フランス・ノルウェー・チェコ・クロアチア・日本

ジュニア世界選手権大会日本選手団

役職	氏名	生年月日	所属
団長	井　薫	1938. 5.29	オムロン
監督	伊藤　宏幸	1951.12. 1	日立栃木
コーチ	井上　亮一	1947. 7.17	夙川学院高校
〃	志賀　良弘	1956. 4. 4	大和銀行
ドクター	山崎　哲也	1961. 7.20	横須賀共済病院
トレーナー	玉田　久良	1954.11. 7	セラピー・カリレオ

	氏名	生年月日	身長	体重	所属	出身校
1	山口　文子	1975.10.22	172	70	オムロン	境高
12	山下美智子	1976. 1. 5	176	65	大和銀行	宣真高
2	池田奈美子	1975.11.12	162	58	ジャスコ	小松商高
3	益田　明子	1975. 4.20	162	53	北国銀行	夙川学院
4	梶田　華恵	1975. 3.21	166	60	東女体大	名短大付
5	田中　雅美	1975. 7. 9	160	55	シャトレーゼ	八潮高
6	田中由美子	1975. 7.25	175	66	北国銀行	小松商高
7	田中美音子	1975. 1.14	158	57	大和銀行	四天王寺
8	加島　絵理	1975. 8.27	168	62	オムロン	別府女短大
9	田中美代子	1975. 1.19	167	67	北国銀行	小松商高
10	田口　順子	1975. 9.26	167	63	日体大	松橋高
13	川崎　裕美	1975. 4.24	162	61	オムロン	本庄高
14	藤浦　美絵	1975.12.19	171	68	大和銀行	夙川学院高
15	熊谷　祐子	1976. 2.20	165	54	シャトレーゼ	大曲農高
11	北川ひろみ	1975.12.19	166	58	シャトレーゼ	仁愛女高
16	浦田　芳江	1976. 8.18	171	65	ジャスコ	洛北高

▽Cグループ
ブルガリア・ドイツ・デンマーク・アルゼンチン・スロバキア（ハンガリーの代替）

▽Dグループ
ロシア・ウクライナ・ブラジル・アンゴラ・ウルグァイ

▼Bグループの対戦日程
9／5　フランス対クロアチア
9／6　クロアチア対ノルウェー
9／7　ノルウェー対チェコ
9／8　日本対クロアチア
9／9　フランス対ノルウェー
9／10　ノルウェー対日本
　　　クロアチア対チェコ
9／11　4B対5A

9月11日のゲームはクロスマッチとして行われるが、珍しいゲームである。

この大会のレフェリーに日本から後藤・清水両氏がIHFから指名されている。

第8回全国小学生大会
男女とも大分県勢が優勝！

7月29日から31日に京都府田辺町の田辺中央体育館で行われた第8回全国小学生ハンドボール大会は、男子が大分県・明野北ハンドボール少年団、女子も大分県の舞鶴ハンドボールスポーツ少年団が優勝を飾った。予選から決勝トーナメントまでの戦いの結果は別掲の通り。

■男子予選リーグ

▽Aブロック
宮城小学校スポーツクラブ（沖縄県）17―5香川町オリーブくん（香川県）　宮城小学校15―8埴生小学校ハンドボール班（長野県）　埴生小学校17―8香川町オリーブくん

▽Bブロック
花高クラブ（長崎県）15―3明石ジュニア（兵庫県）　花高クラブ19―5長万部小学校（北海道）　長万部小学校10―7明石ジュニア

▽Cブロック
中央北HC（熊本県）18―5和歌山市ハンドボール教室（和歌山県）　中央北HC28―3塩山ハンドボールスポーツ少年団（山梨県）　和歌山市ハンドボール教室8―6塩山ハンドボールスポーツ少年団

▽Dブロック
窪スポーツ少年団ハンドボール部（富山県）22―7大浜キッズ（大阪府）　窪スポーツ少年団ハンドボール部21―12愛知県ハンドボールスクール（愛知県）　愛知県ハンドボールスクール18―12大浜キッズ

▽Eブロック
田辺東小学校（京都府）15―9甲田ハンドボール部（広島県）　田辺東小学校19―7岩手大学教育学部付属小学校（岩手県）

■決勝トーナメント（男子）

▽3位決定戦

窪スポーツ少年団　17
田辺東小　12
→ 窪スポーツ少年団

■決勝トーナメント（女子）

▽3位決定戦

網津小ハンド　12
田辺東小学校　10
→ 網津小ハンド

甲田ハンドボール部10－7岩手大学教育学部付属小学校

▽Fブロック
日知屋東小ハンドボール部（宮崎県）12－8真弓クラブ（奈良県） 日知屋東小ハンドボール部9－8安居小学校ハンドボールチーム（福井県） 安居小学校ハンドボールチーム14－9真弓クラブ

▽Gブロック
スポーツ少年団守谷クラブ（茨城県）16－10田辺町選抜（京都府） スポーツ少年団守谷クラブ17－5瀬戸オールスターズジュニア（岡山県） 田辺町選抜17－4瀬戸オールスターズジュニア

▽Hブロック
明野北ハンドボール少年団（大分県）17－6笹川ハンドボール少年団（三重県）

■**女子予選リーグ**

▽aブロック
網津小ハンドボール部（熊本県）16－4香川町オリーブちゃん（香川県） 網津小ハンドボール部17－2塩山ハンドボールスポーツ少年団（山梨県） 塩山ハンドボールスポーツ少年団10－7香川町オリーブちゃん

▽bブロック
舞鶴ハンドボールスポーツ少年団（大分県）17－2田辺町選抜（京都府） 舞鶴ハンドボールスポーツ少年団23－2湊小ハンドボール部（福井県） 田辺町選抜13－3湊小ハンドボール部

▽cブロック
宮城小学校スポーツクラブ（沖縄県）11－6安堵の里ハンドボールクラブ（奈良県） 宮城小学校スポーツクラブ12－9笹川ハンドボール少年団（三重県） 安堵の里ハンドボールクラブ11－8笹川ハンドボールクラブ

▽dブロック
田辺東小学校12－4長崎小島キッズ（長崎県） 田辺東小学校23－4埴生小学校ハンドボール班（長野県） 長崎小島キッズ9－1埴生小学校ハンドボール班

▽eブロック
日知屋東ハンドボール部（宮崎県）9－5大浜キッズ（大阪府） 日知屋東ハンドボール部17－4愛知県ハンドボールスクール（愛知県） 愛知県ハンドボールスクール12－6大浜キッズ

▽fブロック
仏生寺スポーツ少年団（富山県）18－3明石ジュニア（兵庫県） 仏生寺スポーツ少年団22－6甲田ハンドボール部（広島県） 甲田ハンドボール部11－4明石ジュニア

第15回全国クラブ選手権大会結果
ふくしまクラブ（男子）小松クラブ（女子）が優勝

7月28日から30日まで高松市総合体育館と香川県立体育館で開催された第15回全国クラブ選手権大会で、男子はふくしまクラブ（東北）、女子は小松クラブ（北信越）が優勝した。試合の結果は別掲の通り。

男子

大同クラブ（東　海）
高島クラブ（近　畿）
桜門クラブ（関　東）
下松クラブ（中　国）
大　電　会（九　州）
ラージェスト（東　京）
ホンダクラブ（東　海）
ポンチフェローズ（近　畿）
小松ウェンズデー（北信越）
茨苑クラブ（関　東）
高知クラブ（四　国）
ふくしまクラブ（東　北）
氷見クラブ（北信越）
大瀬クラブ（近　畿）
高岡HBクラブ（関　東）
清商クラブ（東　海）
境港クラブ（中　国）
讃岐クラブ（開催県）
甲府クラブ（関　東）
美川クラブ（中　国）
花巻クラブ（東　北）
那賀クラブ（近　畿）
函館有斗クラブ（北海道）
パームヒルズクラブ（九　州）

対戦	スコア
高島クラブ－桜門クラブ	15－17
大同クラブ－桜門クラブ	21－20
下松クラブ－大電会	29－28
下松クラブ－ラージェスト	26－28
大同クラブ－ラージェスト	28－19
ポンチフェローズ－小松ウェンズデー	15－31
ホンダクラブ－小松ウェンズデー	30－26
茨苑クラブ－高知クラブ	17－22
高知クラブ－ふくしまクラブ	19－30
ホンダクラブ－ふくしまクラブ	29－30
大同クラブ－ふくしまクラブ	22－25
大瀬クラブ－高岡HBクラブ	31－27
氷見クラブ－大瀬クラブ	26－19
清商クラブ－境港クラブ	19－23
境港クラブ－讃岐クラブ	18－24
氷見クラブ－讃岐クラブ	33－15
美川クラブ－花巻クラブ	23－24
甲府クラブ－花巻クラブ	20－26
那賀クラブ－函館有斗クラブ	26－16
那賀クラブ－パームヒルズクラブ	21－26
花巻クラブ－パームヒルズクラブ	25－26
氷見クラブ－パームヒルズクラブ	27－22
決勝	24－22

優勝　ふくしまクラブ

女子

小松クラブ女子（北信越）
徳島クラブ（四　国）
オレンジクラブ（関　東）
尾州病院クラブ（東　海）
徳山クラブ（中　国）
SAKURAクラブ（関　東）
DAIWACLUB（近　畿）
函館ホッパーズ（北海道）
香川銀行クラブ（開催県）
大和撫子（近　畿）
境港クラブ（中　国）
あゆみクラブ（東　海）
熊本クラブ（九　州）
佳英クラブ（関　東）
風見鶏クラブ（近　畿）
ギャロップレディースクラブ（東　北）

対戦	スコア
小松クラブ女子－徳島クラブ	22－7
オレンジクラブ－尾州病院クラブ	15－14
小松クラブ女子－オレンジクラブ	17－11
徳山クラブ－SAKURAクラブ	23－14
DAIWACLUB－函館ホッパーズ	20－21
徳山クラブ－函館ホッパーズ	21－11
小松クラブ女子－徳山クラブ	15－14
香川銀行クラブ－大和撫子	27－7
境港クラブ－あゆみクラブ	14－13
香川銀行クラブ－境港クラブ	29－7
熊本クラブ－佳英クラブ	17－11
風見鶏クラブ－ギャロップレディースクラブ	14－10
熊本クラブ－風見鶏クラブ	21－14
香川銀行クラブ－熊本クラブ	22－12
決勝	17－15

優勝　小松クラブ

IHFニュース

●IHF理事会がトルコ・イズミールにおいて開催され、世界大会を次の様に指定した。

・女子世界選手権大会
1997年12月2日～15日／ドイツ

・男子ジュニア世界選手権大会
1997年8月8日～9月20日／トルコ

・女子ジュニア世界選手権大会
1997年8月8日～9月20日／マビシャン（象牙海岸）

●1995年男子ジュニア世界選手権大会

8月20日～9月3日／アルゼンチンブエノスアイレス・メンドーサ・サンラファエルの3会場において開催

▽出場国
アフリカ＝エジプト・チュニジア・アルジェリア
アジア＝カタール・バーレーン（代替：サウジアラビア・韓国）
ヨーロッパ＝デンマーク・ポルトガル・スペイン・スウェーデン・チェコ・ノルウェー・ルーマニア・ロシア・ドイツ・フランス・ポーランド・ユーゴスラビア（代替：スロベニア・リトアニア・スロバキア・アイスランド）
アメリカ州＝アルゼンチン・ブラジル・キューバ（代替：ウルグァイ）

世界選抜チーム

Andreas Thiel	（ドイツ）
Andrei Lavrov	（ロシア）
Mats Olsson	（スウェーデン）
Per Carlen	（スウェーデン）
Urios Fonseca	（キューバ）
Irtan Smailagic	（クロアチア）
Valdimar Crinsson	（フィンランド）
Erik Hajas	（スウェーデン）
Dinitry Filippov	（ロシア）
Marc Baumgartner	（スイス）
Iztok Puc	（クロアチア）
Magnus Andersson	（スウェーデン）
Magnus Wislander	（スウェーデン）
Talant Dnishebaev	（スペイン）
Staffan Olsson	（スウェーデン）
Kyung-Shn Yoon	（韓国）

●「世界選抜チーム」は7月19日から27日、フランスチームと対戦する。トレーナーはベンクト・ヨハンソン（スウェーデン）、ハインツ・ズター（スイス）。選手は別掲の通り。

●オリンピック・ソリダリティー4大陸で24コース

IHFの講師によりアフリカ12コース、アメリカ州5コース、アジア5コース、ヨーロッパ2の24コースが開かれる。日本は昨年実施。今年は計画されていない。この計画のために20万ドルの予算が決まっている。

●IHF医学委員会

IHF医学委員会は「スポーツ医学とハンドボール」の表題で今年2回目の会議を開催する。
12月19日～17日／ウィーン
委員長：ドクター・ギス・ランゲボルト氏（オランダ）

★各国の審判へ異例の警告
「きっちり体調と体力をととのえよう」

この度、IHFは男子世界選手権大会のアイスランドにおいて88試合をこなし、IHFが指名したレフェリーの行動結果についてはほぼ満足を表明した。

ただ、まずいアクションがいくつかあったことも指摘しており、更に大会前のメディカルチェックにおいて何人かのレフェリーの状況が全く満足出来なかったことがあり、重大な関心をもって注意をうながしている。

加えて、傷を完全に治癒せずアイスランドにやってきたと強い調子で警告している。

そのため、男子のジュニア選手権大会、9月の女子ジュニア世界選手権大会に指名されたレフェリーは、身体的状況が問題ないことを証明する書類を求められている。

日本ではまだ大会前のメディカルチェック、体力テスト行われていないが、国際化に向けても、また97年度の世界選手権に向けてトップレフェリーの養成を考えても当然のことながら意識づけが求められる。

スポーツ医科学委員会が 本年度の研究計画を発表

スポーツ医科学委員会は、平成7年度の研究計画及びメディカルサポートにおけるトレーナー、ドクターの帯同の基本的な考え方を発表した。

(1) 研究項目

一 体力測定・メディカルチェック及び個人別トレーニング処方

二 コンディショニング・ハンドブックの作成

三 画像解析によるゲーム分析

四 乳酸濃度とトレーニング効果

五 メンタルマネジメント（心理）

(2) トレーナー、ドクターの帯同の基本的考え方

一 NA男女チーム別（含むB・Jr）をある程度区分し、海外競技会の帯同基準とする。

二 国内合宿・大会等のドクター・ト

スポーツ医科学委員会の機能図

専務理事
常務理事会

強化部長：NA男スタッフ／NA女スタッフ／スポーツ医科学委員長／強化委員会

スポーツ医科学委員会（西山逸成）
（財務）竹内・坂本・斎藤
（庶務）斎藤・坂本・河野

スポーツ医科学研究（西山逸成）
（財　　務）竹内正雄
（研究・庶務）斎藤新太郎

メディカルサポート（濱脇純一）
（ドクター群調整者）　河野卓也
（トレーナー群調整者）坂本静男

委員　阿部徳之助（自治医大学）
板井　美浩（自治医大学）
田中　　守（福岡大学）
寿田　俊介（山口大学）
光島　良正（代々木プログラムス）
柳　　　等（阿久比スポ研）
濱脇　純一（濱脇病院）
河野　卓也（横須賀共済病院）
坂本　静男（順天堂浦安病院）
菊地敬一郎（中学校体育連盟）
本間俊三郎（高等学校体育連盟）
田口　　隆（全日本男子）
松井　幸嗣（全日本男子B）
高橋　精一（全日本男子Jr）
西窪　勝広（全日本女子）
志賀　良弘（全日本女子Jr）

整形外科　25名
内科　　　6名
トレーナー　9名

レーナーの帯同について

地域別担任を男女ナショナル種別区分にこだわらずメディカルサポートの基準とする。

(3)メディカルサポートの行動基準

①海外競技会帯同のドクター、トレーナーは直前合宿に参加し、派遣選手、役員のメディカルチェック（ヘルスチェック）を実施し、所要の処置を行う。

②関係ドクター群からのコンディショニング依頼を入手確認を行うとともに同時帯同のトレーナー等と連携し、情報の交換や指示事項の伝達を行う。

③チームスタッフ（監督・コーチ）から選手情報、要望事項の聴取を行う。

④大会、合宿時にはドクターバッグの確認を実施する。

⑤行動・宿泊・旅費に関する経費は直接チーム監督の所掌とする。

体力測定・メディカルチェックの実施対象は、次のナショナルチームとする。

	ドクター群（調整担当・河野卓也）	トレーナー群調整担当
NA男子	加藤　公（整形外科　鈴鹿回生総合病院） 河野卓也（整形外科　横須賀共済病院） 大庭英雄（整形外科　相模原協同病院） 坂本静男（内　　科　順天堂浦安病院） 岡本　健（整形外科　濱脇病院）	濱脇病院他 グローバルスポーツ
NA女子	坂田武志（整形外科　濱脇病院） 沖本信和（整形外科　濱脇病院） 北岡克彦（整形外科　金沢医大病院） 山崎哲也（整形外科　横須賀共済病院） 伊藤喜久（内　　科　自治医大病院）	トータル・ケアシステム他

地　域	主 担 当	全般調整
東　　北	北岡克彦（金沢医大病院）	（主担任）濱脇純一
関　　東	河野卓也（横浜市共済病院）	男女ドクター群
近畿・東海	加藤　公（鈴鹿回生総合病院）	（整形外科）河野卓也
中・四国	濱脇純一（濱脇病院）	女子トレーナー群
九　　州	坂口　満（熊本整形外科病院）	（内科）坂本静男

チーム	人員	監督	スタッフ		
NA男	20	蒲生晴明	田口　隆	関　健三	
NA男B	16	松井幸嗣			
NA男Jr	16	高橋精一			
熊本候補	23	松井幸嗣	高橋精一	松喜久夫	井藤英忠
NA女	25	樫塚正一	西窪勝広	高野　亮	
NA女B	18	水上　一	土井秀和		
NA女Jr	22	伊藤宏幸	井上亮一	志賀良弘	

連載5

ミニハンドボール

ポール・アーカード／エリック・スコーガード共著　小西　博喜監修

3　テクニック［その4］

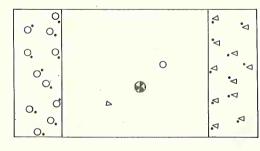
●ボールゲーム（球技）

私達が対象としている年令層の練習では、さまざまな子供用の球技によってボールを投げたり、キャッチする中で、ボールに向かって走ったり、ボールから逃げたりする動きの中で、さまざまな経験をすることができる。それ故、それらの球技は、ミニハンドボールのゲームのための有効な予備段階ということができる。しかし、ここでその球技が子供達の全般的な能力（技術面と動きの両面において）を伸ばすように導くことが基本的に必要である。球技をしばしば変更し、工夫することも賢明な方法である。スポーツに関する本では、多大な量の球技について述べられており、その名称もしばしば変更している。その意味で誤解を防ぐために、ミニハンドボールに関するゲームを詳しく以下に述べよう。

〈練習60〉「ターゲット練習」

プレイする場所は下記に示したように行う。プレイヤーは、ミニハンドボールを持つ（テニスボール、ラバーボールでも使用できる）。大きなボールを1個（バレーボールやビーチボールなど）をコートの中央に置く。プレイヤーは2チームに分ける。彼らは自分のいた場所から投げなければならず、ラインを踏んではいけない。各両側の1人のプレイヤーが、「弾薬運搬人」となり、ボールを運び、自分のチームのプレイヤーにボール（弾薬）を供給する。プレイヤーは自分の意志で、例えば好きな回数だけ、好きな速さでボールをシュートする。もし、一方のチームが、ターゲットのボールを相手のラインに「シュート」したら1点獲得する。そして、ゲームはもう一度始まる。「最初の5点」を争ってもよいが、全く得点は関係なしで行ってもよい。

〈注意〉ボール集めのプレイヤーは、ターゲットボールに触れてはいけない。もし、反則した場合には反則点が与えられる。

〈応用〉ターゲットとして2、3個のボールを使ってもよい。

〈練習61〉「KOキッズ」

プレイする場所は図に示した通り。柔らかいボールを1個使用する。（バレーボールなど）プレイヤーを2つのチームに分ける。ゲームはボールをプレイヤー達の真ん中で投げて始まる。プレイヤーがボールをつかんだら、彼は他のプレイヤーの中の誰かにボールを当てるように投げる。当てられたプレイヤーは「KOされた」ことになり「KOライン」の後ろに行く。プレイヤーは最後に1人だけが残るまでお互いにねらうことを続ける。最後のプレイヤーが勝者である。

〈応用〉

1．このゲームはノンストップでできる。3人のプレイヤーがKOされると、最初にKOされたプレイヤーは戻って入ってもよい。

2．5・6人のプレイヤーがゲームに残ったら、もう一度始める。

3．2つのボールを使う（危険な要素がある）。

〈特別ルール〉

1．ボールは、体と手足をねらったときだけKOしたことになる。

2．他のプレイヤーや床に触れずにボールをキャッチしたとき、投げたプレイヤーがKOされる。

3．ボールが別のプレイヤーに当たった後、他のプレイヤーにつかまれると当てられたプレイヤーは命拾いをし、ゲームを続けることができる。

（練習61）

（練習62）「アンブッシュ（待ち伏せ）」

プレイする場所は図に示す。ボールは適したサイズや表面のよいものを（バレーボールやクロスボールなど）。プレイヤーは2チームに分ける。コーチはプレイする場所の中央で、ボールを高く投げ上げて、ゲームを開始する。ボールをつかんだ方のチームは、相手チームのプレイヤーをねらってボールを当てる。当てられたプレイヤーは、「アンブッシャー」となり、相手チームの後ろの外のエリアに出る。そこから彼は、相手をおびやかして相手に当てることができる。全体のサイドが「アンブッシュ」する側になったらゲームは終わり。

〈特別ルール〉

1．頭に当たったボールは数えない。

2．床や体育館の他の部分に当たらずにボールをキャッチした場合は、投げたプレイヤーがアンブッシュになる。

（練習62）

3．相手がボールをキャッチしたときは、その相手チームの最初のアンブッシャーは中へ戻ることができる。

4．中のメンバーと、アンブッシャーとのプレイは進行される。

（練習63）「ダブル・プレイシング」

プレイする場所は指示したように。プレイする場所の広さに応じて、5、6、7から8個の長方形をつくる。

（練習63）

ボールはミニハンドボールで。プレイヤーは2チームに分け、各長方形に2～4人のプレイヤーが入る。1対1、2対2、または3対3で。プレイする場所の中央で、コーチはボールを投げ上げてゲームを開始する。ボールをつかんだチームは、今度はパスをつなぐことをする。1つ以上の長方形を通り抜けて（上を越えてはいけない）反対側のゴー

（練習64）

ルにボールを持ち込む。反対側のゴールというのは反対側の端にある。これに対して1点が与えられる。点数を入れたチームのゴールキーパーが、ボールを投げ入れてゲームを再開する。パスを阻止してもよい。

〈特別ルール〉

1．ボールがいくつかの長方形を越えてもよい。

2．ゴールに点数が入れられ、ゴールキーパーが、ボールを投げ入れて試合が始まるとき、プレイヤーは隣りの長方形に移動してもよい。

（練習64）「10のパス」

プレイする場所は指示したように。いくつかのミニハンドボールを使う（チームの各ペアに1個ずつ）。1つのチームは、4～5人のプレイヤーで。2つのチームが互いにプレイする。コーチは四角の真ん中でボールを投げ上げる。ボールをキャッチしたチームは、相手にボールを取られたり、四角の外へボールが出たりしないようにしながらパスを10回続けられるようにする。10回パスをしたチームが1点獲得する。その次は同様のことをしようとする相手チームにボールが渡される。

相手がボールをつかむことに成功したら、10回パスを始める。ボールをつかんでよいのは、パスをさえぎったときと、落して転がっているときだけである。身体の接触などファウルのときには反則した側でない方の側に渡される。

（練習65）「リレー・ボール」

指示したように立つ。各チームはミニハンドボールを1個使う。同じ人数で、適当な数のチームを作る。BがAにボールを投げ、AはCにボールを投げ、その間にBは印のところを回って、列の後ろに立つ。CがAに、AがDに投げ、Cは走る。チーム全体が終わると、BがAと交替し、Aが列の後ろに行く。チームの全員がAの元のポジションを行うまでゲームを続ける。どのチームが最初に終わるだろうか。

A　B C D E F

（練習65）

〈特別ルール〉

印のところを通るまで後ろ向きに走る。

●その他のゲーム

（練習66）

ジャンプショット・トレーニングとの関連における下腿と足の強化。

適した場所を決める。この場所の中でプレイヤーは腕を組んで、片足で立つ。合図でプレイヤーは、肩と肩で軽く押し合う。床に両足で触れると直ぐにそのプレイヤーはゲームから外れる。与えられた合図で足を替える。（30秒程度で）始めてから再び始めるまで1分以上続けてはいけない。

〈コメント〉

このゲームは必要以上に荒々しくしないように気をつける。

1995年JOC在外研修にあたり

順天堂大学ハンドボール部監督　東根　明人

■選手として初渡独

1980年、関東学連では競技力向上・交流などを目的に、毎年選抜チームによるヨーロッパ遠征を実施していました。私も大学3年生の時に、選んでいただきました。あれから15年余りが経ちましたが、生れて初めての海外に対し、未知との出会いに胸を踊らせていたことが、昨日のように思い出されます。この時の団長が福地賢介氏であり、藤原侑・高野亮両氏には監督・コーチとして指導していただきました。各氏には、それ以来折を見てはアドバイスをしていただいています。

さて、初の海外遠征。所は本場ドイツ。全ての試合が満員となり、想像以上の雰囲気の中で試合が出来た感激は今でも忘れることができません。その頃の日誌を見てみると、「もう一度来たい。もっと本場のハンドボールを知りたい。いや、スポーツとしてのハンドボールを探りたい」などと記しています。思えばこの頃以来、私の中の夢として「ドイツ留学」が描かれていたように思います。

筆者

■指導者としてドイツを意識

1990年、ジュニアナショナルチーム監督の早川清孝氏より、同チームのコーチ要請がありました。私は、早川氏との出会いもドイツ留学の意を強めた要因の一つであると思っています。それは、早川氏がハンドボールでは最初の在外研修員であったこと。また、指導理念に数多くドイツ留学の影響が見られたことによります。

当時、私の所属する順天堂大学は、関東学生リーグ一部にほぼ定着し、次なるステップを模索している時期でした。そんな折、どのような選手と接すべきか、あるいは、ある状況下において選手の心理状態はどうなのか、といった具体的事例を提出してくださったのも早川氏です。

また、この頃に市原則之氏とお会いすることができたことも、私にとって貴重な財産となりました。市原氏の人間に対する大局的な見方、国際的観点に立ったハンドボールへの愛情など、私のような若輩に対して、真剣かつ丁寧に接していただきました。

今回の件に関しましては、両氏に多大なるご尽力をいただき、心より御礼申し上げる次第です。

■西のケルン、東のライプチヒ

1990年東西統一以前から、両都市はドイツにおけるスポーツ科学の中心地として、知られていました。しかしながら、統一前は社会的情勢もあり、東側はベールに包まれていました。一方、ケルンに関しては交流も盛んであり、西側の情報は自由に入手できました。統一後、三幣晴三（体育科教育）、山本茂（「東独スポーツ王国の秘密」）、会田宏（武庫川女子大紀要）等の文献や、テレビ・新聞などにより、東側の様子が多数報告されるようになりました。これらの情報に接する毎に、興味は増すばかりでした。更に、留学先をライプチヒに定めた決定的な理由は、旧東ドイツのスポーツ文化に精通している高橋日出二氏（トレーニングジャーナル誌に多数掲載）との出会いでした。高橋氏を通じて、旧東ドイツやライプチヒの情報を直接聞くことが出来ました。その結果、未だ見ぬ東側、そのスポーツ科学研究のメッカ・ライプチヒ。決断にそう時間は要しませんでした。

旧DHfK時代に比べると、その規模はかなり縮小したとはいえ、スポーツ科学研究所を持つライプチヒ大学。女子がブンデスリーガ一部、男子も二部のSC・ライプチヒ。それぞれより、8月末から1年間の研修許可をいただきました。また、親日家のゲルシャウ氏（元東ドイツ体操チーム監督）の所に滞在することも決まりました。

最後になりましたが、多くの方々のご支援、ご尽力により、このような身に余る機会を与えていただきました。誌面をお借りして、感謝の意を表します。

私のチームづくり

子供から大人までのチームを夢見て

千葉県ハンドボール協会理事長　稲生　茂

　太陽がギラギラ輝き、グランドの熱で汗をいっぱいかき、子供たちが暑さにも負けないで、元気に走りまわる楽しい夏休みを迎えるころ、ここ日吉台に年に1回の夏祭りの季節が来ます。

　この祭りは毎年7月の末に町内の役員さんを中心に、日吉台小学校のグランドにヤグラを組んで、そのヤグラを中心に四方に提灯をさげて、華やかな会場にしていきます。その回りには、いくつものテントが張られ、出店の出来上がりです。

　昼間は高校生、中学生の演奏会、祭りばやしの紹介に子供をまじえてのカラオケ大会といろいろな行事が催されていきます。夜は盆踊りといよいよ出店の出番です。日吉台ハンドボールクラブも毎年参加しています。

　お父さん方はたこやきを夢中で焼き、お母さん方はジュースにチューハイの販売、子供たちも応援にかけつけ輪投げにカンひき、投げたり引くごとにみんなの歓声が聞こえてきます。

　日吉台ハンドボールクラブの全員で夜店の店員をすることで、チームの和がどんどんふくらみ、故郷感ができチームに対する思いが、今のクラブを支えているエネルギーであると共にクラブの資金源になっています。

　昭和60年まで、私は佐原に住んでいました。地元で小学生のチームをと考えていたところ、佐原高校の卒業生によって佐原ハンドボールクラブが結成されました。そのクラブに小生の長男が興味を見せてくれ、年に十数回の練習でしたが非常に練習を楽しみにしていました。大会にも何度か参加して、家族全員で応援に行ったことが今でも非常に楽しい思い出として残っております。

　そして、昭和61年に日吉台に自宅を購入して、高校生チームの指導のみで2年が過ぎました。

　これだけではやはり何かさびしい気がしました。「よし、小学生チームを自分で作ろう」と思い立ち、長女に話して友達を集めてもらい、平成元年4月、6年生16名で日吉台ハンドボールクラブがスタートしました。

　その年は家族全員でこのクラブ活動を運営しましたが、次の年に父母会ができ、多数の親の協力が得られるようになりました。その中でも役員の方々のスタッフに恵まれたことがクラブ活動を活発にさせた原動力だと思います。

　今までの成績は女子中心ですが、夏の関東大会で優勝2回、準優勝1回、3位が3回です。冬の読売杯では優勝1回、3位が3回という結果で、ちびっ子でも一度優勝しました。

　子供のチームが実績を残すようになると、父母の活動もますます盛んになり、いよいよ父母チームが結成され、お父さんはドラゴンズ、お母さんはスィートバードとチーム名を決めました。

　今ではこの父母チームで県民大会に出場するという充実したものになってきました。県内で本当の意味での県民大会チームであり、理想のチームであるという自負があります。ただ、女子はまだ1勝もしていません。

　これからのチームの方針をどのようにするか模索していますが、現在中学生の部も活動していまして、富里北中学校で社会スポーツとして登録しています。これらのチームを含めて日吉台に一大スポーツクラブを完成させて、小学生から中学生に、また高校生を加えて大人のチームにつないで行くというヨーロッパ的スポーツクラブを夢見ています。

　それには中体連と高体連の参加資格拡大と市町村施設の充実、そして地域全体での補償制度の確立が今後の課題であると思います。

（この原稿は前号で誌面の都合により掲載されませんでした。＝編集部）

列島縦断③

全日本の後援会組織を!!

高知県ハンドボール協会理事長　武田　末男

当県では平成9年に全国中学校大会を、14年に国民体育大会ハンドボール競技が高知市で開催されます。平成6年4月に理事長に成り、すぐにこの様なビッグイベントが決まり、少々とまどいを感じている所です。

高校チームを中心に中学、大学、社会人チーム40チーム、約700名の競技人口で、全体的に見ても、まだまだ弱小県ではありますが、上記の大会をバネにして、普及・発展・強化と頑張って行こうと考えております。

高知県においては、ハンドボール競技はマイナースポーツの王様と言われるほどの評価しか受けておりませんが(高知県では、野球、相撲、ソフトボールが人気スポーツです)、協会役員、選手が協力し、人気スポーツに成る様努力して行きたいです。まずはマスコミに取り上げてもらう事ですが、本県チームが全国大会での活躍が一番のニュースと解りつつも、弱小県ゆえに、なかなか思う様には行きません。次は県内での国際試合、日本リーグ開催、有力チームとの合同合宿などです。前者においては、大阪市ハンドボール協会理事長山中先生の御尽力により、今年5月30日にドイツ・ハンブルグ市選抜チームを招いて高知県選抜チームとの初めての国際親善試合が行われました。試合当日は、火曜日午後6時スローオフ、中高生は中間試験中とのことで、観客数を心配しておりましたが、約700人の観客を集め大変盛り上がったゲームが出来、選手一同感動致しました。その夜のドイツチームとのレセプションでのハンブルグチームの歌とダンス。本県はよさこい鳴子おどりで歓迎。大いに盛り上がった事は、言うまでもありません。またこの親善試合の経費は約100万円程度でしたが、役員・選手がキップ売り、広告取りをし、赤字の出ない様にと奮闘致しました。今後の活動に大いに自信となりました。翌日の新聞のスポーツ面にカラー写真入りで試合結果を取り上げていただきました。

次の日本リーグ開催ですが、本年度より、ホームアンドアウェイとの事で日本リーグのチームの無い本県では開催出来なくなり、大変残念に思います。開催権料を値上げしてでも、日本リーグを開催したい協会もあると思いますので再考をお願い致します。また日本リーグで全日本選手の出場するゲームではプレミアムをつけてはどうでしょう。上乗せした金額は全日本チームの強化費として使って行く、また選手にしても自覚が生れてくるのではないでしょうか。全日本チームの活躍こそが日本ハンドボールの発展につながる早道ではと……。

全日本チームの強化を日本協会のみにまかせるのではなく、我々全国の愛好者も、もっと関心を持つ事も大切と考えます。全日本後援会なる組織を作って、みんなで応援すると言うのはどうでしょうか。会員数1万人、年会費1万円、総額1億円が全日本チームの強化費として毎年捻出出来ます。日本協会の強化と相成って成果も上がると思います。

最後に本県では、毎年3月末に県外の高校生チームを招いてプロ野球の西武ライオンズの春季キャンプが行われている春野ドームを主会場に「黒潮カップ」交流会を行っております。本年度は木野実氏(元全日本)を招き講習会も企画しており、多くのチームの参加を待っております。今後とも協会発展に努力し、続けて行きたいと思っております。

平成7年度登録の
選手証・賛助会員証を発行

㈶日本ハンドボール協会は平成７年度登録の一般Ｌ、一般Ａ、一般Ｂ、学生の４種別に、チーム登録及び個人登録した個人に対して選手証を発行した。本年度より登録業務にコンピュータを導入し、チーム登録管理、個人登録管理を電算化処理することとなった。このことにより、上記４種別の個人登録管理は新規登録、登録抹消、登録追加のコンピュータ入力処理によって、本年度より実施する重複登録のチェック、国体の登録チェック、さらには従来は外部業者に依頼していた機関誌管理業務が一括して日本協会の事務局で行うことができるようになった。

選手証は㈶日本ハンドボール協会に所属していることを示す選手証明書であり、是非写真を貼付して常に携帯していただきたい。今年度は発行が遅くなり各種公式試合に活用することができなかったが、来年度はこの選手証を公式試合の際の選手参加資格のチェックカード、ＩＤカードとして活用していく予定である。なお、平成７年度は全日本総合選手権でこの選手証をＩＤカードとして使用する。

選手証は黄色地に黒文字で英和で日本ハンドボール協会と記し、右上には日の丸をあしらったデザインとした。平成７年度発行の選手証は14,811枚であった。上記４種別の個人登録管理によって、159名の重複登録が確認された。内、三重登録が１名、二重登録が158名であった。

なお、選手証に記載された登録番号は生涯番号となることから、照会の際は登録番号を申し出ていただきたい。

平成７年度は登録締め切り日が５月31日と遅かったことによって選手証の発行が遅れ、関係方面には多大なご迷惑をおかけした。平成８年度はこのようなことから締切期日を早めることにより、選手証を発行する種別に関しては登録締切日を早めることを検討している。

また、同時に賛助会員証を発行した。賛助会員証も選手証と同じデザインとし、地色をスカイブルーにした。裏面には各人の有効期間が異なるために有効期間を示した。平成７年度役員改正に伴い、㈶日本ハンドボール協会会長米倉功が㈶日本ハンドボール協会賛助会会長を務めることとなった。賛助会員証は、本証を提示することによって、当協会主催の各種大会、日本リーグの各試合が無料で観戦できるので活用していただきたい。賛助会員証の発行枚数は232枚であった。

審判委員会インフォメーション
ルールに関する疑問！

Q 高校生の試合で次の様なケースがありました。どんな判定が適切か教えてください。

Ａチームのシュートを Ｂチーム ＧＫがキャッチし、ワンパスの速攻を出した。ＡチームＧＫは飛び出してこのボールをはじいた。ボールはサイドラインから外へ出た。その時、Ａチームのプレイヤーもこのボールをカットしようとして、ボールをはじいた味方のＧＫと激突し、両者倒れる。攻撃側になったＢチームのプレイヤーはすぐにサイドからスローインをしてシュートしたボールがゴールイン。レフェリーはアドバンテージルールを適用して得点を認めた。確かにＢチームのプレイヤーは、何も反則はしていないのだが、なにかすっきりしないので教えてください。

A 発達段階にある中・高校生の試合では、特に健康・安全面に留意してゲーム管理をしなければなりません。レフェリーはこのことを前提にして、いろいろな場面の判定をするわけですが、ご質問の文章の内容からは、味方コートプレイヤーとＧＫが激突とありますから、できればすぐにタイムアウトをとり、両者のダメージの様子を見るのが第一であろうと思います。

しかし、コートプレイヤーがＧＫを避けそこない単に接触して倒れた、という場合には、このレフェリーの処置の方が適切と思われます。この状況を判断するのは、あくまでレフェリーに与えられたものであることは言う迄もありません。

Q ジャックルについて質問します。ゲーム中で次のようなケースがありました。相手のエースＡ２と私が１対１になり、Ａ２がフェイントをかけてきました。その時、Ａ２はフェイントステップしながら手からボールが離れ、空中に飛び出し、再びそのボールをつかみ直したので、私はしめたと思いすぐにポイントから速攻へ攻めようと気を抜いたとたん違反の笛の合図がなくて抜かれてしまいました。このケースでは、一度地面にボールを落とせばよいが、直接つかむのはジャックルではないのですか？

A ルール７－７にジャックルの定義が書かれております。また競技規則必携の中の「競技規則の解説」の中にも載っております。

ご質問のケースの「ファンブル」はプレイヤーがボールをキャッチしようとしたり、ボールを止めようとしてつかみそこないをしたわけではありません。従ってこのケースは明らかにジャックルと判断します。

おそらくレフェリーの位置どりが悪く、見えなかったのか、位置が遠くて確認できなかったものと思われます。

レフェリーの皆さん、ゲーム中はレフェリーもいろいろなミスがありますし、見えないこともあります。しかし位置どりが悪かったり、位置が遠かったりでは、選手は納得しません。レフェリーも精一杯動き、努力してください。

フリースロー

「ありがとうの心」

企画・広報委員　早川　文司

ヨーロッパの強豪クラブを招いた全日本男子強化の国際親善大会を広島と熊本で観戦した。特に熊本はご存じ1997年世界選手権の開催地。準備状況や盛り上がり具合を知りたいという目的もあったが、2年後への足取りは順調で、県・市民の熱い心意気を膚で感じた。

証明したのが、会場に詰めかけたファンの多さ。連日1500人を超えた館内は、大会事務局が胸を張ったように熱気ムンムン。開催への期待の大きさを示したものだった。

そういった中でコートに目を移すと、一抹の寂しさを感じた。9月のアトランタ五輪予選を控えた全日本の覇気のなさだ。合宿や遠征続き、暑さで疲れがあるのかも知れないが、2カ月後に最後の代表キップを目指すチームとして気がかり。周囲の人たちにも聞いてみたが、一様に同じ気持ちを抱いていた。

今の全日本にとっての最大の目標はオリンピック出場である。だれも異論を唱える人はいないはずだ。今回の親善大会も予選突破に弾みをつけようという強化の一環である。だからこそ「覇気のなさ」はいただけない。むしろ、そうした舞台を作ってもらったことに対して〝ありがとうの心〟をアピールすべきではないだろうか。「一生懸命頑張っている」気持ちをコートに爆発させてもらいたいのだ。

激しい戦う気持ちが伝わってきてこそファンも力が入り、応援のしがいがあろうというもの。それが全日本に課せられた責任でもあるはずだ。まだ、彼らは日本ハンドボール界のトップ。青少年にとってあこがれの的であり、手本でもある。プレーだけでなく、生活面でも注目されているのだ。「さすが頂上を極めた男」と認めさせることこそ大切ではないだろうか。

「ありがとうの心」が伝わってこそ、ハンドボール界の発展もある。元気な全日本復活を願い、そして五輪出場の朗報に接する日を楽しみにしたい。

95年度事業予定

(財)日本ハンドボール協会

全国大会（会場）

月	日程	大会名	会場
95/4			
5	12～14	第36回全日本実業団選手権大会（男子）	大阪市立中央体育館
	12～14	第36回全日本実業団選手権大会（女子）	愛知県体育館
6			
7	28～30	第15回全国クラブ選手権大会	高松市総合体育館・香川県立体育館
	29～31	第8回全国小学生ハンドボール大会	京都府田辺町田辺中央体育館
8	2～7	第46回全日本高校選手権大会	倉敷市水島緑地福田公園体育館 県立青陵高等学校
	5～6	第22回全国高等専門学校選手権大会	大阪府体育館
	8～10	第3回全国教職員マスターズ大会	豊田市
	9～13	第38回全日本教職員選手権大会	広島市佐伯区スポーツセンター体育館 湧永満之記念体育館他
	15～19	西日本学生選手権大会	名古屋市天白区スポーツセンター他
	17～21	東日本学生選手権大会	函館市民体育館他
	19～22	第24回全日本中学校大会	埼玉県草加市健康都市記念体育館
9			
10	15～19	第50回国民体育大会	福島県本宮町総合体育館他 石川町総合体育館他
	22～	第20回日本リーグ（前期～12／10）	各地
11	14～19	第38回全日本学生選手権大会	宮城県仙台市体育館
12	14～17	第47回全日本総合選手権大会（男子）	東京体育館
	21～24	第47回全日本総合選手権大会（女子）	神戸市総合運動公園グリーンアリーナ
	26～28	第4回JOCジュニアオリンピックカップ	大阪府堺市立大浜体育館他
96/1	6～	第20回日本リーグ（後期～3／17）	各地
2	10～12	第27回全日本実業団トーナメント（男子）	福井県・北陸電力体育館
	10～12	第4回全日本実業団トーナメント（女子）	福井県・北陸電力体育館
3	25～28	第19回全国高等学校選抜大会	愛知県体育館
	28～31	第20回日本リーグプレイオフ	東京

その他

月	日程	事業	場所
95/4	2～4	第3回アジア女子ジュニア選手権大会	韓国・ソウル
	6～8	第5回女子アジア選手権大会	韓国・ソウル
5	7～21	第14回男子世界選手権大会	アイスランド
6	1～20	女子ナショナル・ヨーロッパ遠征	
	5～10	男子ナショナル強化合宿	名古屋
	22～	女子ナショナル強化合宿	名古屋
7	14～16	第1回広島国際大会	広島
	21～23	サマーカップ	熊本
	29～	男子ナショナル・ヨーロッパ遠征（～8／16）	
8	23～27	男子ナショナルB海外遠征	ドイツ
	28～	男子ナショナル・コンチネンタルカップ（～9／5）	フランス
	29～	男子ナショナル・強化合宿（～9／8）	本田技研鈴鹿
	28～	女子ジュニア・強化合宿（～9／1）	日立栃木
9	9／2	〈会議〉常務理事会	
	5～13	女子ナショナル強化合宿	オムロン
	5～17	第10回女子ジュニア世界選手権大会	ブラジル
	15～24	男子ナショナル海外遠征	バーレーン
	25～10／5	第8回男子アジア選手権大会 兼アトランタ五輪予選	クウェート
10			
11			
12	5～17	第12回女子世界選手権大会	ハンガリー・オーストリア
96/1			
2	18～22	男子ジュニア韓国遠征	
3			

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三五六号
昭和四十年六月　日 第三種郵便物認可
平成七年八月二十六日 印刷
平成七年九月一日 発行
東京都渋谷区　一ー一ー一
電話 代表 三四八一ー二三六一
振替 〇〇一二〇ー七ー一〇二九三
編集兼発行人 中澤重夫
定価三百五拾円